

# ワンパターンから卒業！ ちょっとした工夫で、トレンドのまとめ髪

2018年6月

梅雨の時期は湿気で髪が広がりやすくなったり、気温が上がると  
えり足の髪がうっとうしく感じたりする人も多いと思います。しか  
し、いざ髪をまとめようと思っても、髪型が手抜きに見えてしま  
うことはありませんか。

そこで今回は、簡単にできるいつもと違ったまとめ髪を、トレンド  
を取り入れながらご紹介します。



## ◆巻き髪でつくる、自然な立体感のあるまとめ髪

最近、コームなどできちんと整えたまとめ髪より、自然な立体  
感があり、少し濡れたようなウェット感のあるスタイルがトレンド  
です。自然なニュアンスをつくるためには、ひと手間加えて、コテなど  
で髪を巻くことをおすすめします。髪全体にスタイリング剤をなじませ、軽く巻きます(①)。スタイ  
リング剤にオイルやジェルを使うと、ウェット感が出てより今どきらしい印象になります。さら  
に、髪全体ではなく表面に見える髪を部分的に巻くと、時間と手間を大幅に短縮しながら、動きのあるスタイルをつくる  
ことができます。毛束の量を少なめに、内巻きと外巻きをランダムに巻くのがポイントです。

次に、後頭部の低い位置でひとつに結びます。このとき、頭頂部より後ろの髪の毛を、  
指でつまんで部分的に引き出し、自然なふくらみをつくりましょう(②)。

最後に、結んだ毛束をくるくるとねじっておだんご状に丸めて、根もとをピンで留めたら  
完成です(③)。ヘアスタイルがくずれやすい方は、仕上げにスプレーを使うとよいで  
しょう。



①表面の髪の毛を部分的に巻く



②ひとつに結び、後頭部の髪を引き出す



③結んだ毛束をくるくるとねじっておだんごにする



完成！

## ◆「ねじり」を取り入れ、ポニーテールをおしゃれにアレンジ

コテを使って巻くのが面倒な方は、束ねた髪を結び目に通す「くる  
りんば」や「ねじり」を取り入れてみましょう。

今回は「ねじり」を使ったポニーテールのアレンジをご紹介します。  
まず、まとめたい部分の髪に軽くワックスなどもみこみます。そう  
することで、髪がバラつきにくくなり、ニュアンスが作りやすくな

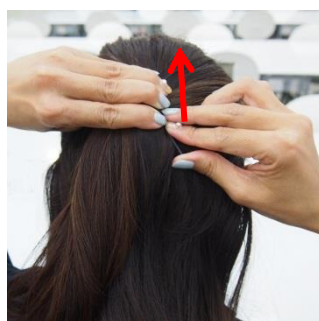


くるりんば

ります。耳より上の髪を取り、毛束の根もとを左右どちらかにねじって、ピンで固定します（①・②）。ねじった毛束と一緒に、髪全体を後ろでまとめ、ゴムでひとつ結びにします。トップの髪を引き出し、自然な立体感を出すとういでしょう（③）。ひとつ結びの毛束から、髪を少し取り、ゴムの結び目を隠すようにくると巻き付けピンで留めると、さらにおしゃれ感が演出できます（④）。髪を結ぶ高さによっても印象が変わるので、シーンによって使い分けてみるのもいいですね。



①耳より上の髪をまとめ、毛束の根もとをねじる



②ねじった毛束を、ピンで下から上に留める



③後頭部の髪を引き出し、ニュアンスを出す



④ひとつに結び、ゴムの結び目を隠すように髪を巻き付けたら完成！

#### ◆浴衣のときの簡単ヘアアレンジ

夏になると花火大会やお祭りなど、浴衣を着る機会もあるでしょう。そんな時、自分やお子さんの髪型に悩んだことのある方もいらっしゃるのではないでしょうか。そこで、おすすめなのが小物を取り入れたアレンジ。たとえばスカーフやリボンを入れて髪の毛と一緒に三つ編みをする、一段と華やかになります。ピンを使わずヘアゴムのみでできるので、とても簡単です。三つ編みをしたあと、そのままお団子ヘアにアレンジしてもかわいいですね。浴衣の色や柄に合わせて、スカーフを選んでみましょう。



#### ◆アイテム

ヘアスタイルをより美しくキープするには、スタイリング剤を取り入れてみましょう。オイル・スプレー・ワックスなどさまざまなタイプがありますが、髪がさらさらしてまとまりにくい方はワックスをもみこんだり、カールをキープしたい方は巻き髪用のミストやオイルを使うのがおすすめです。さらにトレンドのウェット感や毛束感を出すなら、オイルやウォーターを使うとういでしょう。ヘアスタイルやパーツによってアイテムを使い分けて、涼しくまとめ髪を楽しみましょう。